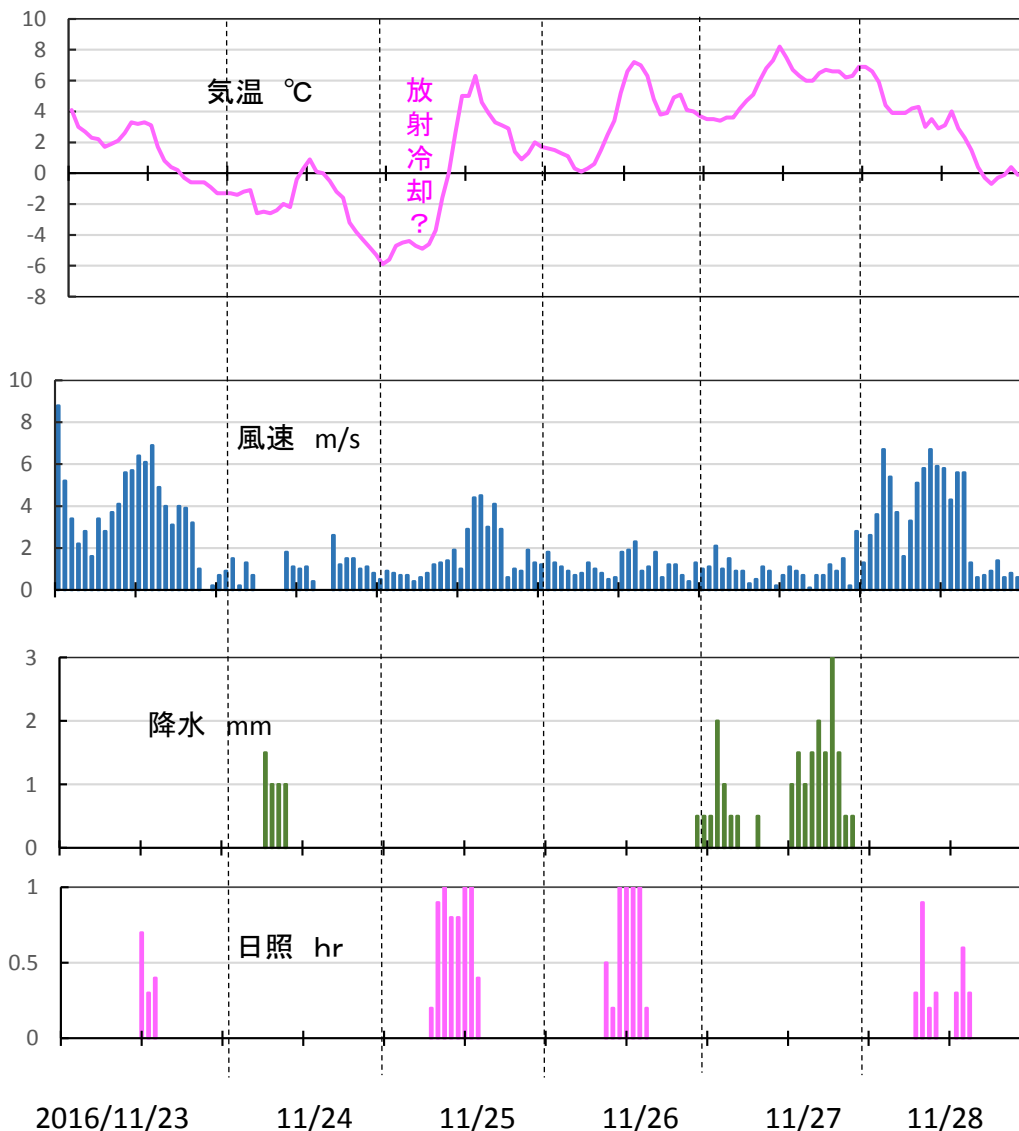


長野県大町アメダス

11月29日午前8時ころ。雪崩発生



雪崩原因の可能性

- 11/24降雪 風ほとんどなし弱層に？
 - 24-25、25-26日 日射と気温低下
放射冷却？、表層に霜系弱層？
 - ◎27日の降雪が上載積雪
 - ◎28日、強風、風下斜面に吹き溜まり
弱層があれば斜面は不安定
- 断面を視れば弱層の有無はわかる。
結晶形から降雪系か(2/24)霜系か
(2/25,26)判る

日本雪崩ネットワークの立山エリアの雪崩情報

11/29 7時発表
主に2つの不安定性に注意が必要。一つは、持続型スラブ。24日早朝の放射で形成したこしもざらめ雪を含む弱層を原因としており、ワッフ音や人的な刺激に反応している。この弱層は、標高をやや下げた場所や、南向き斜面においては、解消しつつあるものの、観察自体が室堂周辺でしか行えていないため、標高が高い場所では不確実性が高い。もう一つは、今回のある程度まとまった降雪が風で移動し、形成したウインドスラブ、特に、北～東側に形成したウインドスラブの下には、持続型弱層が埋もれている可能性があり、より危険が高くなる。

雪崩
↓

この雪崩情報は100%正しいと思う。気象データからもこの情報は裏付けられる。理系の大学生なら、この理屈は理解できるはず。まだまだ、我々の情報発信が足りないことを痛切に感じます。

秋田谷の感想

11/29